

平成30年度全国学力・学習状況調査(学力編)

平成30年度の「全国学力・学習状況調査」が、4月17日(火)に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として実施され、その結果が8月下旬に学校に届けられました。

本調査は下記のような目的で実施されます。

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

今年度は、国語・数学に加えて3年に1度で理科も実施されました。そこで、和木中学校生徒の学力の状況をご家庭にお知らせします。学校としては、本調査の結果により、生徒の学力や生活の実態を分析・把握することで、日々の教育実践を振り返り、改善を図りたいと思います。その際に、ご家庭にもご協力をいただき、生徒の確かな学力の定着と学力向上を目指して取り組んでいきたいと考えています。

(1) 山口県全体の結果

- 小学校では、全ての区分で全国平均以上でした。
- 中学校では、区分によって差はあるものの、概ね全国平均と同程度でした。

(2) 和木中学校の結果(全国・山口県の平均正答率との比較)

都道府県等における各区分の平均正答率は整数値で提供されます。

教科	和木中学校の状況	山口県	全国
国語A	全国平均を <u>やや下回っている</u>	77%	76.1%
国語B	山口県平均と同程度	61%	61.2%
数学A	全国平均を <u>大きく下回っている</u>	67%	66.1%
数学B	山口県平均を <u>やや下回っている</u>	46%	46.9%
理科	山口県平均と同程度	67%	66.1%

(3) 本校の生徒の傾向

よい傾向がみられた問題(◎)：山口県や全国を上回っている
課題がある問題(▲)：山口県や全国を下回っている

- 問題A 主として「知識」に関する問題
問題B 主として「活用」に関する問題

【国語A】

【よい傾向がみられた問題】

- ◎ 語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味をとらえる
- ◎ 文脈に即して漢字を正しく読む
- ◎ 慣用句の意味を理解し、適切なものを選択する

【課題がある問題】

- ▲ 目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く

【国語B】

【よい傾向がみられた問題】

- ◎ 話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する

【課題がある問題】

- ▲ 文章とグラフとの関係を考えながら内容をとらえる
- ▲ 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く

〈国語の状況〉

慣用句に関する問題や漢字の書き取りや読み取りなど、言語事項に関する問題や基礎基本を問うものについては正解率が高く、ほぼ定着しているといえます。しかし、文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉えることを苦手としている生徒が多いです。また、目的に応じて文章を読み、内容を正しく捉えたいと、条件に合わせて効果的に表現することに課題があります。

【数学A】

〔よい傾向がみられた問題〕

- ◎ 数直線上に示された負の整数を読み取ることができる
- ◎ 絶対値の意味を理解している
- ◎ 単項式同士の除法の計算ができる
- ◎ 半円を、その直径を軸として回転させると球が構成されることを理解している

〔課題がある問題〕

- ▲ 数量の関係を不等式で表す
- ▲ 証明の必要性と意味を理解している
- ▲ 一次関数のyの増加量を求める
- ▲ 一次関数の意味を理解している
- ▲ 多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している

【数学B】

〔よい傾向がみられた問題〕

- ◎ 与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる
- ◎ 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる
- ◎ 事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができる

〔課題がある問題〕

- ▲ 不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる
- ▲ 事象が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる
- ▲ 発展的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き表すことができる

〈数学の状況〉

1・2年生で学んだ計算や図形問題などは正答率が高く、ほぼ定着しています。しかし、文章を読んで、自分で考えたことをまとめて書くことを苦手としている生徒が多いです。今後は、長い文章を読んで理解する力と、考えたことを書く力の双方が必要です。

【理科】

〔よい傾向がみられた問題〕

- ◎ 無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用できる
- ◎ 豆電球と豆電球型のLEDの点灯の様子と電力との関係を指摘できる
- ◎ アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を見つけている
- ◎ 植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識を身につけている

〔課題がある問題〕

- ▲ 風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用できる
- ▲ シミュレーションの結果について考察した内容を検討して改善し、台風の進路を決める条件を指摘できる
- ▲ 化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる
- ▲ 地震の揺れの強さが震度あること、S波による揺れが主要動であることの知識を身につけている

〈理科の状況〉

動物や植物の体のつくりや、物質の分野の知識は比較的定着しています。しかし、事象に対して、なぜそうなるのか説明する問題には苦手意識を持っています。また、知識を活用して、新たな知見を求めるなど、応用する力も不足しています。今後は、事象や理論を説明する力をつけることが必要です。

和木小中学校の共通の課題として、何について問われているのかを把握できておらず、問題の読み落としがあることや、主語と述語の関係を理解して記述することができていないということがありました。そこで、日々の授業の中で落ち着いて話を聞き、考えることができるように、次のことに取り組みたいと思います。

(1) わきっこスタンダードの確認・徹底

- ① 学習規律の徹底
- ② 学習スキルの習得（話し方・聞き方のポイント）

(2) 日記や作文、各教科の中での文章記入の際に文法的に間違っているものを訂正し、正しい文章が書けるようにする。

次号は、生徒質問紙の結果についてお知らせしたいと思います。生徒質問紙は、生徒の学習意欲・学習方法・学習環境・家庭や地域での生活の状況に関する調査です。